

早めに見つけて！早めに予防！「歯周病」



進行した歯周病のある人の割合は 20 歳代後半～30 歳前半で3割以上
加齢とともに増加し 55 歳以上では5割以上にもなります！
軽症の人を含めると、日本人の7割に歯周病の症状があると推定されています。

★初期段階で自覚症状はほとんどありません！
★40 歳代以降では歯を失う最も大きな原因です！

◆歯周病とは？

歯にこびりついた「プラーク(歯垢)」にすみつく「歯周病菌」の繁殖によって起こる感染症です。歯そのものではなく、歯の周りの歯肉に炎症を起こし、歯を支えている組織を徐々に破壊します。進行すると歯肉が腫れて出血し、歯を支える歯が溶け始め、最終的には歯が抜け落ちます。



◆歯周病の影響は歯だけではない！

糖尿病

お互いに影響し合い悪循環！

歯周病菌が歯ぐきに侵入すると、炎症物質が分泌されインスリンの働きを妨げます。また血糖が高い状態が続くと、歯ぐきの血管が傷つき免疫力が低下したり、唾液の分泌が少なくなり歯周病になるリスクが高まります。

動脈硬化

歯周病菌が血管を狭める！

血管に歯周病菌が入り込み血管壁にとりつくことで血管を狭め、その結果動脈硬化が進行し、脳梗塞や狭心症、心筋梗塞などを引き起こす原因の1つになります。

メタボリックシンドローム

太りやすくなる！歯周病の悪化にもつながる！

歯周病が進行し、よく噛めなくなると、満腹中枢が働きにくくなり食べ過ぎてしまいます。また太っている人は脂肪細胞から炎症物質が大量にでて、歯周病が悪化するすることも。

この他、骨粗しょう症や認知症、肩こりなど、歯周病は全身に影響します！

◆歯周病の可能性は？気になる症状をチェックしてみましょう

監修：東京歯科大学名誉教授
和泉 雄一

- 歯ぐきがムズムズしてかゆい
- 歯ぐきが浮いた感じがして、はれぼったい
- 歯を磨くと歯ぐきから出血する
- 朝起きた時、口の中ネバネバしている
- 歯ぐきを押しすと血や膿がでる
- 口臭を指摘された、自分で口臭があると感じる
- ◇ 歯ぐきの色が赤黒い、歯ぐきが腫れている
- ◇ 歯と歯の間に食べ物がはさまりやすい
- ◇ 歯を触ると、歯がグラグラする

軽度～中等度

※3つ以上で歯周病の疑いがあります

重症

※1つでも当てはまる方は検診ではなく早めの受診を検討ください！

どうでしたか？

もし当てはまる症状がなくても、油断は禁物です！
歯周病は初期段階では症状が出にくいので、ご自分および歯医者さんで予防するように努めましょう。

一度病院で確認してみませんか？

進行するにつれ、治療が困難になっていきます！早期発見・早期治療を！

